第２回 丸子中央病院シミュレーション医療教育シンポジウム

～ “シナリオ”の作り方とその使い方 ～

日 時： 平成２８年１０月２９日（土） １４：００～１７：００

会 場： 上田市　丸子中央病院 ９階　（定員８０名）

丸子中央病院は平成 26 年より研修センターを設置し、“医療現場におけるシミュレーション医療教育”に取り組んでおります。その中で、昨年の第 1 回シンポジウムは、「振り返り手法としてのデブリーフィングを理解する」をテーマに開催しました。国内を代表する先生方にお越しいただき、デブリーフィングというシミュレーション医療教育の中心部について深い議論ができたものと考えております。 今回は、テーマを「シナリオの作り方とその使い方」といたしました。«シナリオ作成→ブリーフィング→シミュレーションとそのファシリテーション→デブリーフィング»というシミュレーション医療教育の構造に沿って、その流れを丁寧にたどりながら、皆様に、この教育手法へのご理解を深めていただき、さらには実践へとつなげていただくことを目指しております。 今回も、この領域で活躍され日本で最も輝いている先生方をお迎えすることができますことは望外の喜びであり、院外へも広くご参加を呼びかける次第です。 このシミュレーション医療教育について考える３時間が、皆様にとって有意義な機会となりましたら誠に幸いです。 皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

医療法人丸山会　丸子中央病院

研修センター長　橋倉 泰彦

プログラム

司会　橋倉 泰彦 （丸子中央病院 研修センター）

（１）なぜシミュレーション教育が必要か？シナリオの作り方とその考え方

橋倉 泰彦 （丸子中央病院 研修センター）

（２）ブリーフィング・ガイドの準備とその考え方

野村 雅子 先生 （埼玉医科大学総合医療センター）

（３）ファシリテーション・ガイドの準備とその考え方

嶋岡 鋼 先生 （国際医療福祉大学塩谷病院 小児科）

（４）デブリーフィング・ポイントとその考え方

武田 聡 先生 （東京慈恵会医科大学 救急医学講座）

（５）ティー・タイム　～演習の準備～

（６）シミュレーション医療教育の実際（信州大学医学部の学生さんを対象とした演習）

坂本 広登 先生 （長野県立阿南病院 内科）

（７）クロージング・リマークス

内田 美恵子 先生 （埼玉医科大学総合医療センター）

清水 郁夫 先生 （信州大学 医学教育研修センター）

多田 剛 先生 （信州大学 医学教育研修センター）